

豊中ボランティア・フェスティバルに参加

11月18日(日)に豊中市すこやかプラザで、「第20回ボランティアフェスティバル」が開催されました。今年は、記念のフェスティバルで、オープニングに大阪音楽大学の皆様による演奏、記念講演として、ラジオの人気パーソナリティとして活躍している馬場章夫様をお招きして「世界一寒い村(-71.2℃)を訪ねて」と言うテーマで、想像を絶する体験談を巧みな話術と、本人撮影の現地映像で大いに楽しみました。



ステージ発表では、1番目にナルク豊中池田わかばの会から、大井さん、河原さん、山田さんが出演され「民謡」を披露されて、拍手喝采をあげました。また、当日の役割分担と石井さんと岡田さんに、舞台セッティングと音響などを担当して頂きました。また、各ボランティア団体の展示やバザーなども行なわれて、大いに盛り上がりました。当日、出演された方、世話役の方、参加を頂いた会員の皆様、ご家族の皆様にお礼を申し上げます。
(清水正弘)

古江台ホールでの年末お餅つきボランティア



年の瀬も迫った12月26日、例年通り特別養護老人ホーム古江台ホールの依頼でお餅つきのボランティアにわかばの会から16名(男子6名、女子10名)が参加しました。

平成18年から始めて今回で7回、今までにない多くの会員にご参加頂き、下芝施設長も大いに感激されました。

皆さんエプロン姿、三角巾、マスク姿、ビニール手袋をつけて会場に、(初回は平成18年、玄関先で行い、寒さのため入居者も参加出来ず、この反省から次年度からは各ロビーで行う提案、今日に至っています。)施設内の4か所のロ

ビーで餅つきを実施。各ロビーには男性会員が臼と杵を運び、順番に2臼ずつ餅つきをしました。各ロビーには多くの入居者が参加され、男性の餅つき、臼とりでは手拍子で応援。また小さめの杵でのお餅つきにも参加、満足そうな笑顔、出来上がったお餅は海老入れの赤色、蓬餅は緑色の綺麗なお餅が出来上がり皆さん大喜び。小さい小餅作りに女性会員と入居者が仲良く楽しい笑顔で丸める姿も印象的でした。昔のお正月の餅つきのことを思い出したのでしょうか。

終了後、下芝施設長より感謝のお言葉を頂き、また出来上がったお餅であんこ餅やお醤油の入ったおろし大根餅を大変美味しく頂きました。

皆さん年の瀬も押し詰まったお忙しい中、参加頂き本当にご苦労さんでした。

このホームでの感想は如何でしたか。

(吉田光代、木村良三)

